

授業科目名 科目コード	プレゼンテーションソフト利用技術 (Presentation Software Application Technology) 2012022-027					担当教員	高梨 俊彦 (タカナシ トシヒコ) 坂井 一貴 (サカイ カズタカ) 西俣 先子 (ニシマタ ヒロコ) 高島 幸成 (タカシマ コウセイ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単 位 数	2	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要
<p>プレゼンテーションでは、企画やアイデアなどの特定のテーマについて、限られた時間の中でその目的や必要な情報を相手にわかりやすく伝えることが重要である。プレゼンテーション資料の作成を支援するソフトウェアの一つである Microsoft PowerPoint は、企業内の企画会議や顧客への提案活動などに積極的に利用されている。本授業では、PowerPoint を用いた効果的なプレゼンテーション資料の作成を行うための知識および技能を学ぶ。「PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験 上級」に対応している。</p>
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
<p>知識問題は講義形式で実技問題は実習形式で進めていく。コンピュータを使った実習形式であるため、テキストは必ず購入して授業に持参すること。</p>
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ 標準的な達成レベルの目安
<p>(i) Microsoft PowerPoint に関する基礎的な技能を有し、標準的なプレゼンテーションを作成することができる。</p> <p>(ii) Microsoft PowerPoint に関する実践的な技能を駆使して、効果的なプレゼンテーションを作成することができる。</p>
⑥ テキスト（教科書）

サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会(2019)『PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験問題集(2016 対応)(第2版)』サーティファイ
⑦ 参考図書・指定図書
株式会社ウイネット(2016)『PowerPoint2016 クイックマスター(第1版)』ウイネット

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	15%	15%			20%		100%
(i) Microsoft PowerPoint に関する基礎的な技能を有し、標準的なプレゼンテーションを作成することができる	20%	5%	5%			10%		40%
(ii) Microsoft PowerPoint に関する実践的な技能を駆使して、効果的なプレゼンテーションを作成することができる	30%	10%	10%			10%		60%
フィードバックの方法	小テストは採点后、解説の時間を設ける。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
理解度を確認できる課題を通して、確実に知識・技能の習得を目指す。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)
1	PowerPoint の基本操作	教科書、筆記用具	PowerPoint の基本操作と教科書 p.4～5 の復習 60分
2	実技「Hill Top Castle 雪が丘」	教科書、筆記用具	教科書 p.6～10 の予習、復習課題の提出 60分
3	実技「ぬいぐるみ工房」入力・知識「書式設定」	教科書、筆記用具	教科書 p.13～15・p.84～85 の予習、復習課題の提出 60分
4	実技「ぬいぐるみ工房」編集・知識「編集」	教科書、筆記用具	教科書 p.16～19・p.97～99 の予習、復習課題の提出 60分

5	実技「秋の寄せ植え講座」・知識「検索・置換」	教科書、筆記用具	教科書 p.22～30・p.100～101 の予習、復習課題の提出	60分
6	実技「エジプト旅行記」・知識「罫線と表」	教科書、筆記用具	教科書 p.34～39・p.102～106 の予習、復習課題の提出	60分
7	実技「インターネット利用率調査結果」・知識「オブジェクト」	教科書、筆記用具	教科書 p.42～49・p.107～111 の予習、復習課題の提出	60分
8	実技「健康な生活のために」入力	教科書、筆記用具	教科書 p.121～124 の予習、復習課題の提出	60分
9	実技「健康な生活のために」編集	教科書、筆記用具	教科書 p.125～130 の予習、復習課題の提出	60分
10	実技「Atelier K」入力	教科書、筆記用具	教科書 p.134～137 の予習、復習課題の提出	60分
11	実技「Atelier K」編集	教科書、筆記用具	教科書 p.138～142 の予習、復習課題の提出	60分
12	実技「ブライダルフェア」入力	教科書、筆記用具	教科書 p.146～152 の予習、復習課題の提出	60分
13	実技「ブライダルフェア」編集	教科書、筆記用具	教科書 p.153～157 の予習	60分
14	上級模擬問題演習	教科書、筆記用具	上級模擬問題準備学習	60分
15	実技「システム提案書」	教科書、筆記用具	教科書 p.170～178 の予習	60分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。出題した課題の内容を基に、各回の始めに課題の評価・考察を行い、学修内容をフィードバックする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

